

①一般国道121号 会津縦貫北道路

受賞機関 国土交通省 東北地方整備局 郡山国道事務所

<評価>

地域高規格道路（会津縦貫北道路、会津縦貫南道路）の一部を形成する延長13.1kmの自動車専用道路である。全線開通により、喜多方市と会津若松市が自専道で結ばれ、福島復興支援の役割を果たし、特に喜多方市への企業進出、新たな雇用創出が評価された。

はじめに

会津縦貫北道路は、福島県会津地方の縦軸を強化するため、喜多方市から会津若松市を經由して南会津町まで計画されている延長約70kmの地域高規格道路（会津縦貫北道路、会津縦貫南道路）の一部を形成する延長13.1kmの自動車専用道路である。平成9年度に直轄権限代行で事業着手し、段階的に開通させながら事業を進捗し、平成27年9月6日に全線開通した。

事業の概要・成果

会津縦貫北道路の全線開通により、会津地方の主要都市である喜多方市と会津若松市間が自動車専用道路で結ばれることで、会津地域の経済活動を支えるとともに、復興支援等の役割を果たしている。

会津縦貫北道路が最初に部分開通した平成21年度以降、喜多方市へ企業16社が工場を新設、3社が工場を増設し、143名の新たな雇用を創出している。全線開通により、磐越自動車道へのアクセスが向上したことでさらなる企業誘致が期待できることから、喜多方市では、新たな工業用地を検討している。また、喜多方市における平成21年度以降の有効求人倍率の伸びが約5倍と全国平均を大きく上回っており、地域経済発展に大きく寄与している。

会津縦貫北道路の開通により、移動時間の短縮が図られ



会津縦貫北道路 湯川南IC～会津若松北IC

るとともに磐越自動車道と一体となって会津地方の主要観光拠点間の移動が円滑になり、観光入り込み客数の増加が期待される。

また、湯川南IC付近に平成25年開院した『会津医療センター』とのアクセス性が確保され、迅速な救急搬送が可能となり、地域医療サービスの向上に寄与している。

おわりに

今後も地元経済の動向に注視し、ストック効果について継続して検証・発信を行っていくこととする。

賛助会員 いであ(株)、大林道路(株)、オリエンタル白石(株)、(株)建設技術研究所、セントラルコンサルタント(株)、大日本コンサルタント(株)、(株)NIPPO、パシフィックコンサルタンツ(株)、(株)福山コンサルタント、(株)復建技術コンサルタント、三井共同建設コンサルタント(株)

②主要地方道盛岡停車場線開運橋塗替塗装事業

受賞機関 岩手県 盛岡広域振興局 土木部

<評価>

岩手山を眺望する開運橋は、建設後60年以上にわたり広く県民に親しまれ、「景観形成重点地域」にある。塗装後22年が経過し錆などが目立ってきたため、「橋梁の長寿命化と景観向上」を目的に塗替塗装を行った。既存塗料の有害物質飛散防止対策と色の選定にあたっての試験塗り、またケレンに時間のかかるリベット部での工程管理などが評価された。

はじめに

盛岡駅と中心市街地を結ぶ開運橋は、盛岡駅開業に伴い明治23年（1890）に建設され、現在の橋は三代目で昭和28年（1953）に完成し、建設後62年が経過している。

直近の塗装塗替えから22年が経ち、塗膜の剥がれや錆による腐食の進行が懸念されることから「橋梁の長寿命化と景観向上」を目的に、平成28年に開催する「希望郷いわて国体・いわて大会」前に塗装塗替工事を完成させたものである。

事業の概要・成果

開運橋周辺は盛岡市の「景観形成重点地域」に指定されていることから、塗装色の選定にあたっては、盛岡市景観形成推進委員会に諮り、現地で「試験塗装」を実施するなど専門家の助言のもと、周辺環境に溶け込み、現在の白色より温かみを感じる「ムーンホワイト」に決定した。

既存塗膜に有害物質を検出したため「循環式エコクリーンプラスト工法」を採用し、産業廃棄物の大幅な削減やコスト縮減等を図った。

併せて現場周辺への飛散防止対策として、防護パネルや



開運橋

内部養生シートの2重化など複数の対策を講じた。

本橋はリベット構造であるため、1種ケレン作業の困難が想定されたが、毎月の工程管理や足場作業床に新工法を活用するなど、作業の効率化による工期短縮に努めた。

工事期間中の通行規制については、道路利用者や地域住民等への丁寧な説明と随時報道機関への積極的な広報活動により、工事への理解が得られ、大きなトラブルもなく完成することができた。

おわりに

橋の袂には開運橋の歴史を紹介する案内板を設置した。今後も多くのみなさまからランドマークとして親しまれ、橋から岩手山の眺望が心に残り、県内外から二度三度と盛岡を訪れるきっかけとなれば幸いである。

賛助会員 (株)土木技研、(株)渡辺塗装工業